

資料 1

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金活動報告

別紙

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金
活動状況報告書

団 体 名	ボランティアサークルふおうはあと
補助金決定額	200,000 円
活 動 内 容	別紙
南区（地域） の地域福祉に 貢献できたこ と	世代を越えたふれあいの場づくりにより、こども達の健全育成と高齢者の居場所づくりに貢献できた。 また参加者の中から年齢を問わず、新たなボランティアも育成でき、これからのボランティア活動への意識の向上につながった。
今後の課題	大型絵本での活動をおもに行っている為、運搬や保管管理が大変である。

平成28年度 活動報告

月	日	曜日	活動	内容	備考
5	15	日	表現アートセラピー	会場 新飯田地域生活センター 時間 10時00分～12時00分 参加者 17名	
6	26	日	世代間交流	会場 新飯田小学校体育館 時間 9時30分～12時00分 内容 大型絵本を使って遊ぶ 参加者 100名	
6	29	水	虫よけスプレーづくり	子育て支援 ママクラブ 参加者11名	
7	14	木	虫よけスプレーづくり	白南中 参加者34名	
	25	月	分団水泳前よみきかせ	13時15分～ 25名	
	26	火	分団水泳前よみきかせ	13時15分～ 25名	
	28	木	カプラ	会場 体育館 参加者 28名 時間 10時00分～11時00分	
			ふおうはあと	11時00分～12時00分 弁当 12時00分～	
			分団水泳前よみきかせ	13時15分～	
	29	金	カプラ	会場 体育館 参加者 19名 時間 10時00分～11時00分	
ふおうはあと			11時00分～12時00分		
8	1	月	分団水泳前よみきかせ	13時15分～	
	2	火	分団水泳前よみきかせ	13時15分～	
	4	木	分団水泳前よみきかせ	13時15分～	
	5	金	分団水泳前よみきかせ	13時15分～	
	8	月	学童 ひまわりクラブ 訪問	20名	
	18	木	ものづくり講座	会場 新飯田地域生活センター	
			布ぞうり	時間 9時00分～15時00分	
25	木	手袋手芸	内容 工作、料理、など		

			ストローで虫 など	会費 300円 参加者22名+15名	
9					
10	30	日	ハッピーハロウィン	会場 新飯田小学校体育館 時間 10時00分～15時00分 内容 大型絵本 三枚のおふだ ゲーム ピアノ演奏 他 参加者 81名	
12	8	木	大型絵本とピアノ演奏	会場 白南中 時間 お昼休み13時15分～ 参加者 42名	
2	12	日	こどもマルシェ	会場 新飯田地域生活センター 時間 10時00分～ 内容 フリーマーケット他 参加者 お店15、来店者100名	

別紙

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金
活動状況報告書

団 体 名	ボランティアサークル デザンジュ
補助金決定額	200,000 円
活 動 内 容	<p>6月12日(日) ～これからの未来をより良く生きる～ 新・覚悟の作り方 講演会 講師：加藤昌樹 先生 参加者：38名</p> <p>8月28日(日) 初心者パステル画講座 講師：鈴木ゆか 先生 参加者：26名</p> <p>11月20日(日) ミネラル栄養学セミナー 講師：朝川兼行 先生 参加者：22名</p> <p>2月11日(土) 足揉み・ヨガ講座 講師：古川清子 先生・木下絵梨 先生 参加者：22名</p>
南区(地域) の地域福祉に 貢献できたこ と	<p>今年で3年目になる活動で、ずいぶんと知名度も上がりました。補助金をいただき、講師の先生方のご協力のもと手ごろな価格で地域の皆様に講座を楽しんで頂く事が出来ました。</p> <p>上記セミナーの他にも自主活動として、つくし園、白根健康福祉センター、社会福祉法人すずまり、ボランティア・オーエンジャーなどで今年度、合計15回ハンドマッサージの地域活動を行いました。</p>

今後の課題	<p>補助金での活動は、今年度で終了致しますが 地域施設のハンドマッサージの活動は、毎回とても好評で 引き続き行っていく予定です。</p> <p>どうしてもクリームを使う事になりますので、材料費がか かります。施設で用意してもらおう事になると思いますが、 ご理解と協力をしてもらえよう努力していきます。</p>
-------	---

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金
活動状況報告書

団 体 名	白根手話サークルつばさ
補助金決定額	200,000円
活 動 内 容	<ul style="list-style-type: none">・手話を通して聴覚障がい者とのコミュニケーションを図りながら、聴覚障がい者の交流を促進するための手話を教えた。・8月の夏休みの間に白根高校の学生が手話講習会（初級）を開いた（生徒6人・先生4人・一般2人）・10月7日から11月18日（金）毎週金曜日午後7時半～南区月潟地区公民会館で手話講習会を開いた。 （小学生1人・一般7人） 人数が少ないと残念けどみんなは楽しく勉強した。・講習会の期間が短いと思いますが、来年は市民を広めるように考えたい。
南区（地域） の地域福祉に 貢献できたこ と	<ul style="list-style-type: none">・受講者に会った時、簡単くらい挨拶できたと嬉しいです。・南区は広いので福祉は十分出来てないのでこれからの形になると思います。・白根サークルに新しい受講者が一人くらい来た。ほっとした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none">・来年度は白根手話サークルの中心に手話講習会を開催したい。・「手話とはなに？」と市民に広めたいとおもいます。



南区ふれ愛

手話講習会

手話(手話言語)を通して聴覚障がい者との交流を図りながら、聴覚障がい者の理解を深め、一緒に楽しく学習しましょう！！」

日時：平成28年10月7日(金)～11月18日(金)

毎週金曜日の7回

午後7:00～8:30(受付開始 午後6:30～)

会場：新潟市南区月潟地区公民館

新潟市南区月潟535番地(電話：025-375-1050)

駐車場有り

講師：NPO法人新潟市ろうあ協会

対象者：手話に興味ある人

受講料：無料(テキストは配布)定員20名



★手話通訳有り

★申し込みは下記の通り連絡をお願いします。締切日9月30日

[申し込み・問い合わせ先]

白根手話サークルつばさ 柳

FAX:025-373-6340 Eメール:yanagi34jp@ybb.ne.jp

携帯電話:090-1548-9111 鈴木

にいがた安心ささえ愛活動支援事業



南区ふれ愛 手話講習会 (初級者)

手話(手話言語)を通して聴覚障がい者との交流を図りながら、聴覚障がい者の理解を深め、一緒に楽しく学習しましょう!!」

日時 1、8月1日(月) 午前10時～12時
2、8月8日(月) 午前10時～12時
3、8月22日(月) 午前10時～12時

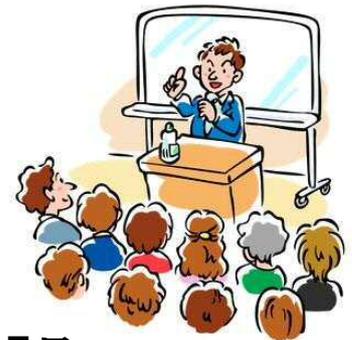
*原則的に「3回とも参加できること」を条件にして募集します

会場 : 白根高校

講師 : NPO 法人新潟市ろうあ協会

対象者 : 手話に興味ある人

受講料 : 無料(テキストは配布)定員20名



★手話通訳有り

★申し込みは下記の通り連絡をお願いします。締切日7月25日

[申し込み・問い合わせ先]

白根手話サークルつばさ 柳

FAX:025-373-6340 Eメール:yanagi34jp@ybb.ne.jp

鈴木(手話通訳者)

携帯電話:090-1548-9111

にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金

活動状況報告書

団 体 名	特定非営利活動法人まちづくり学校
補助金決定額	200,000 円
活 動 内 容	<p>小学生または小学生の親子を対象に、白根地区でまちあるきガイドを受けながらまちの魅力を見つけ出す「まちたんけん」と見つけた魅力を多くの人に伝える「新聞づくり」を行った。</p> <p>今春活動をはじめた「しろね大凧タウンガイド」にご協力いただき、コース設定やガイド内容などを事前に決め、ガイドさんとともに子どもたちに伝えたいまちの魅力をあらかじめ抽出。これらをもとに、子どもたちがまちに興味を持ち、より注意深くまちを観察する工夫を行った。具体的には、コース上の見せたい場所などにあらかじめ隠しておいたカードを発見してもらったり、クイズ形式で謎解きをしたり、ビンゴのカードに書かれた場所を発見してもらうなどゲーム制を取り入れた。また、ガイドや商店街の方からまちの成り立ちや地域の伝統、お仕事について話をお聞きし、実際のお仕事の様子を見せていただくことで、白根のまちの人々と子どもたちをつなぎ、まちが人々の営みを通じて成り立っていることに気づくようにした。</p> <p>まちあるき後は、まちの良さを人に伝える力や表現力を伸ばせるよう、気づいたことや感じたことを各自で新聞にまとめた。作業中は子どもたちの自主性を重んじつつ必要な場合にはスタッフが補助を行った。作成後は一人一人が講師からのアドバイスをもらい、新聞を並べ、お互いの作品を鑑賞し合った。</p> <p>開催後はまちたんけん和新聞づくりの様子をレポートにまとめ、参加者や協力店舗に配布し、当日の様子を当団体H. P やフェイスブック等で公開した。</p>

<p>南区(地域)の 地域福祉に貢 献できたこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化による地域行事の縮小など子育て世帯と地域との関わりが薄れてきている中で、小学生の親子で参加できるまちあるきを行ったことで、自分の暮らすまちの魅力に気付いて地域に愛着を感じてもらうことができた。また店を訪れたいという声や、来年もまちたんけんにぜひ参加したいという感想がほとんどであった。 ● 昨年度南区の養成講座で立ち上がった自主組織「しろね大風タウンガイド」のボランティアにガイドを依頼したことで、子育て世帯と地域をつなぐパイプ役を担ってもらうことができ、楽しみながら子育て仲間や地域の顔馴染みをつくるきっかけになった。 ● ボランティアガイドは企画から関わることでガイドスキルを向上させ、ガイドになったことでより自信を持って小学校の体験学習などに出向いて町家の素晴らしさなどを伝えることができるようになったとの声があった。来年も企画をより自主的に運営していこうと今から構想を練っており、ガイドの可能性を広げることができた ● 感性豊かな子ども目線から見たまちの良さ・面白さを広く市民に伝えることで、子どもだけでなく大人や、南区の商店街の方々も自分たちの生業に誇りを感じ、まちの良さに改めて気づききっかけとなった。 ● まちたんけんのチラシを事前に商店街に配布する際に、「まちを子供たちの声で活気付けてほしい」「明るくしてほしい」「頑張っ。応援しますよ」と声をいただき、子どもと一緒に地域を楽しくしようという一体感を醸成することができた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 南区内外の小学1年生～6年生、中学生と幅広い参加があったが全体的に南区からの参加が少なかった。今後は日程の設定や、広報を検討する必要がある。 ● 新聞づくりに関して、紙面構成の仕方などフォーマットを利用するほか、具体的にイメージできるような見本を提示するなどより書きやすい工夫が必要。 ● しろね大風タウンガイドが小中学校のまちあるき体験学習でも講師として活躍できるように子供たちの教育現場との連携を図る。今回の活動をPRにいかに関係するかを会の運営と合わせて検討する。